

第4章 施策の方針と主な取組

1 施策の体系図

目標2 ふるさとに愛着と誇りをもち、地域や社会に貢献できる人を育成します

施策8 地域の歴史や伝統、文化に学ぶふるさと学習の推進	【取組 8-1】	次代につながるふるさと学習の推進
	【取組 8-2】	交流を通してふるさとのよさを学ぶ活動の推進
	【取組 8-3】	学校給食における「はちまんの日」の実施
	【取組 8-4】	地域とともに体験的に学ぶ環境学習の推進〈後掲〉
	【取組 8-5】	地域資料の活用と充実〈後掲〉
施策9 豊かな自然や人々の生活から体験的に学ぶ環境学習の推進	【取組 9-1】	地域とともに体験的に学ぶ環境学習の推進
	【取組 9-2】	身近な自然に触れる機会の充実
	【取組 9-3】	交流を通してふるさとのよさを学ぶ活動の推進〈再掲〉
施策10 社会的・職業的自立につながるキャリア教育の推進	【取組10-1】	社会的・職業的に自立できる力を育てる地域と連携したキャリア教育の推進
	【取組10-2】	学校の学習と社会とを関連付けた教育の推進
	【取組10-3】	キャリア形成に必要な教育の推進
	【取組10-4】	地域社会の一員として主体的に参画する意識の向上

2 施策の方針と取組内容

目標2 ふるさに愛着と誇りをもち、地域や社会に貢献できる人を育成します

●施策8 地域の歴史や伝統、文化に学ぶふるさと学習の推進

【方針】 自分が生まれ育った地域を知り、地域のよさを学ぶことにより、子どものふるさとを愛する心や誇りに思う心を育てるとともに、ふるさとや社会に貢献する次代を担う子どもを育てます。

◆主な取組

【取組8-1】 次代につながるふるさと学習の推進

○ふるさと近江八幡に関する教材の活用と体験活動の充実

- ・ 小学校社会科副読本「わたしたちの近江八幡」の活用の幅を広げ、自分が生まれ育った近江八幡の伝統や文化に学び、ふるさとを愛する心や誇りに思う心を育てます。
- ・ 地域教材を活用した道徳科の実践を積極的に行い、地域の人々とつながる中で地域のことを学び、豊かな心を育みます。
- ・ 子どもが地域行事や伝統文化・文化財などに会い、触れることのできる活動や体験を通して、ふるさとに親しみをもつことができるよう努めます。

○ふるさと近江八幡の魅力を伝える授業づくりの充実

- ・ 子どもが、地域の伝統や文化に触れ、ふるさとに愛着や誇りを醸成できるよう、ふるさと学習の取組を教育研究発表会等で交流することにより、教員の指導力の向上を図ります。
- ・ 地域の魅力を見童生徒に伝えるためには、教員がふるさと近江八幡の歴史や文化、その魅力を知り、その学びを授業に活用することが大切であることから、ふるさと学習教職員等現地研修会の充実を図ります。

○地域人材の活用

- ・ 地域のモノづくりの伝統や技術、その生きざまや知恵を見童生徒に伝えられるよう、人生伝承塾*の人材確保に努めます。

【取組8-2】 交流を通してふるさとのよさを学ぶ活動の推進

- ・ 富士宮市近江八幡市児童交歓会を行い、両市の自然や歴史、文化に触れるとともに、夫婦都市との交流を深めます。

【取組8-3】 学校給食における「はちまんの日」の実施

- ・ 毎月「8」の付く日を「はちまんの日*」とし、特産品や市内産の野菜を使用したり、昔から伝わる郷土料理を取り入れた献立を実施したりします。また、地域の食文化を知り、食を楽しみながら郷土を愛する心や感謝の心を育てます。

【取組 8-4】 地域とともに体験的に学ぶ環境学習の推進〈後掲〉

(●施策 9 「豊かな自然や人々の生活から体験的に学ぶ環境学習の推進」に記載)

【取組 8-5】 地域資料の活用と充実〈後掲〉

(●施策 19 「読書活動の推進と読書環境の充実」に記載)

	施策 8 成果指標	R3 年度	R8 年度 (最終目標)
1	全国学力・学習状況調査で「今住んでいる地域の行事に参加している」に、肯定的回答をした児童生徒の割合	小 75.0%	80%
		中 53.6%	70%
2	ふるさと学習教職員等現地研修会アンケートで、「授業に生かすことができる研修内容であったか」に、肯定的回答をした参加者の割合	—	80%
3	近江八幡市産野菜を給食に使用する割合	(R2 年度) 26.5%	30%
4	歴史浪漫デジタルアーカイブ閲覧件数	(R2 年度) 281,170 件	300,000 件

目標2 ふるさとに愛着と誇りを持ち、地域や社会に貢献できる人を育成します

●施策9 豊かな自然や人々の生活から体験的に学ぶ環境学習の推進

【方針】 発達段階に応じた体験活動を通じ、ふるさとのよさを学ぶとともに、地域の資源や人材を活用し、地域に根ざした生活体験や自然環境学習の充実を図ります。

◆主な取組

【取組 9-1】 地域とともに体験的に学ぶ環境学習の推進

- ・ 沖島で「やまのこ*」体験学習を実施し、森林の持つ働きを学び、また沖島の自然やくらしを体験的に学びます。
- ・ 持続可能な社会を担う一員として、地球環境の課題に目を向けられる資質を育みます。自分のくらしを見つめ、二酸化炭素の削減をめざした活動や環境学習に地域とともに取り組みます。また、地域の自然や歴史、文化に触れる機会の充実を図ります。

【取組 9-2】 身近な自然に触れる機会の充実

- ・ 様々な自然の変化や植物の生長に興味関心が持てるよう、計画的に園外へ出かけたり、園内での栽培活動に取り組んだりします。

【取組 9-3】 交流を通してふるさとのよさを学ぶ活動の推進〈再掲〉

(●施策8「地域の歴史や伝統、文化に学ぶふるさと学習の推進」に記載)

	施策9 成果指標	R3 年度		R8 年度 (最終目標)
1	全国学力・学習状況調査で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に、肯定的回答をした児童生徒の割合	小	53.7%	70%
		中	38.3%	70%
2	計画に基づく園外保育や菜園活動の実施率	—		90%

目標2 ふるさとに愛着と誇りを持ち、地域や社会に貢献できる人を育成します

●施策10 社会的・職業的自立につながるキャリア教育の推進

【方針】 子どもが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を見つける基盤となる「基礎的・汎用的能力*」、すなわち「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」及び「キャリアプランニング能力*」を育てるため、発達段階に応じた体系的なキャリア教育*の充実を図ります。

◆主な取組

【取組10-1】 社会的・職業的に自立できる力を育てる地域と連携したキャリア教育の推進

- ・ 社会人としてのルールやマナーを事前に学習した上で、中学生チャレンジウィーク*（職場体験学習）を通じて、中学生が働く大人と出会い、様々な活動を体験します。「働くこと」の意義を理解し、自分の生き方や社会での役割について考え、自分を見つめ直す機会とします。

【取組10-2】 学校の学習と社会とを関連付けた教育の推進

- ・ 学習が社会とつながっていることを理解し、学びに対する意欲を高め、子どもの「生き抜く力*」を育めるよう、小学校段階から特別活動や教科横断的な学習を推進します。また、様々な体験や学びの記録を「キャリアパスポート*」として小学校・中学校・高等学校の校種間*で引き継いで活用します。

【取組10-3】 キャリア形成に必要な教育の推進

- ・ 主権者教育*や消費者教育*など、キャリア形成*に求められている必要な教育を、関係課と連携しながら推進します。

【取組10-4】 地域社会の一員として主体的に参画する意識の向上

○「伝えよう!熱い想い」の開催

- ・ 未来を担う生徒が、自己実現を図り成長するために、「伝えよう!熱い想い」を開催し、市内中学生の意見発表や部活動の発表を通して、中学生を応援し、理解や共感を深めます。

○成人式の開催

- ・ 生まれ育った地域の成人式に参加することにより、成人としての自覚と責任を認識するとともに地域への理解を深め、ふるさとへの愛着心及び今後の社会や地域活動等への積極的な参画意識を高めます。

	施策 10 成果指標	R3 年度		R8 年度 (最終目標)
1	職場体験の生徒用事後アンケートで「職場体験で自分のよさや適性などを発見したり、確認したりできた」に、肯定的回答をした生徒の割合	中	87.0%	90%
2	全国学力・学習状況調査で「将来の夢や目標をもっている」に、肯定的回答をした児童生徒の割合	小	80.0%	90%
		中	64.4%	80%
3	全国学力・学習状況調査で「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」に、肯定的回答をした児童生徒の割合	小	73.1%	80%
		中	66.3%	80%
4	全国学力・学習状況調査で「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」に、肯定的回答をした児童生徒の割合	小	69.5%	80%
		中	60.4%	70%